

市町村長・管理職特別セミナー

市町村長特別セミナーを、7月18日、19日の2日間の日程で開催しました。全国各地からご参加いただいた57人の市町村長・副市町村長の皆様に加え、管理職特別セミナーの研修生31人にも合同でご参加いただきました。

初日は、「関係人口増加による地域活性化」と題して、月刊『ソトコト』編集長の指出一正氏から、関係人口のつくり方、指出氏の関わられた全国各地の様々な実践事例、わたしたちが地方で幸せを見つけるソーシャルな視点に、関係案内所があるか、未来をつくっている手ごたえがあるか、「自分ごと」として楽しいかの三つがあることなどについてご講演いただきました。参加者からは、「夢と希望を感じた内容であった」、「紹介された多くの実践事例を参考に地域の若者との関わり方を検討したい」などの感想をいただきました。

次に、「国際情勢の変化と日本経済の行方」と題して、時事通信社解説委員の軽部謙介氏から、日米の新協議はどうなるのか、米国の情勢、トランプ政権の特異性、トランプ大統領の事情、新協議で注目すべき点、日本は何をするべきかなどについてご講演いただきました。参加者からは、「米国の政治事情について理解を深めることができた」、「これから本格化する日米協議に注視していきたい」などの感想をいただきました。

2日目は、「新たな防災行動計画で被害の最小化を図る～タイムライン防災、コミュニティ防災～」と題して、東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授、環境防災総合政策研究機構環境・防災研究所副所長の松尾一郎先生から、いま「千年災害」時代が到来していること、地球温暖化によって引き起こされているもの、2018年の西日本豪雨、コミュニティ及びタイムライン防災の必要性などについてご講演いただきました。参加者からは、「タイムライン防災の考え方は非常に参考になった。今後、地域防災計画に取り入れたい」、「住民自らがコミュニティ防災に取り組もうとする意識付けが重要だと感じた」などの感想をいただきました。

最後に、「世界の構造転換の中で地域の活性化と防災を考える」と題して、一般財団法人日本総合研究所会長、多摩大学学長の寺島実郎先生から、世界経済や日本について、ジェロントロジー、アジアダイナミズム、防災力を高めるために必要なものなどについてご講演いただきました。参加者からは、「『経営とは時代認識だ』との言葉に感銘を受けた」、「将来を見据えた世界観を持つことが必要だと感じた。また、超高齢社会において若者と高齢者が役割分担することにより、いかに成熟した社会にしていけるかを考えたい」などの感想をいただきました。

関係人口増加による 地域活性化

月刊『ソトコト』編集長
指出 一正氏



国際情勢の変化と 日本経済の行方

時事通信社解説委員
軽部 謙介氏



新たな防災行動計画 で被害の最小化を図 る～タイムライン防災、コ ミュニティ防災～

東京大学大学院情報学環総合防災
情報研究センター客員教授、環境防
災総合政策研究機構環境・防災研
究所副所長

松尾 一郎先生



世界の構造転換の中 で地域の活性化と防 災を考える

一般財団法人日本総合研究所会長
多摩大学学長

寺島 実郎先生

